

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

| | | | |
|----------------|-----------|-----|----------------|
| ○事業所名 | きりん教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年1月13日 | | ～ 令和8年2月14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 109 | (回答者数) 100 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年1月13日 | | ～ 令和8年1月24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 10 | (回答者数) 10 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月7日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・様々な場面で多職種連携を図ることができている。 | ・必要に応じて職員同士がお子さまのことについて相談をし、様々な職種の職員が連携を取りながらお子さまと関わるように意識している。 | ・より専門性の高い支援を提供できるように日々のケース検討を重ねていく。 |
| 2 | ・お子さま一人ひとりの成長や発達の状況について保護者と共通理解を深められている。 | ・活動の振り返りの際に、先週よりもどうだったか、どんな成長しているかなどを保護者に分かりやすく説明するように職員間で意識している。 | ・引き続き、お子さまの発達状況や様子に応じて、多職種連携を図りながらより良い支援を提供していく。 |
| 3 | ・毎月の小集団のレクリエーション活動が充実している。 | ・年間通して毎月レクリエーション活動をおこない、目的や意図を持って、小集団の中でお子さま一人ひとりに合わせた活動が行えるように取り組んでいる。 | ・地域交流などの機会を増やし、様々なレクリエーション活動を提供していく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・家族支援プログラム等の実施機会が少ない。 | ・きょうだい同士、家族同士の交流が生まれるように工夫をしたが、支援プログラムとしての提供が少なかった。 | ・保護者同士の交流を持てる機会や支援プログラムに参加していただけるように、プログラムの提案、日程調整（参加しやすい土曜日の開催など）に努める。 |
| 2 | ・事業所内での非常災害等の必要な訓練実施に偏りがある。 | ・訓練の実施内容や日時にばらつきがある。 | ・様々な状況を想定した訓練に参加できるように、訓練の内容の提案や日程調整し、災害時にスムーズに対応ができるように努める。 |
| 3 | ・SNSなどの情報発信が少ない。 | ・情報発信がきりんだよりやホームページのみになっており、普段の活動の様子などを発信できていない。 | ・きりんだよりだけでなく、リアルタイムで教室内の活動などを伝え、事業所のことを知ってもらえる機会を増やしていけるように努める。 |

| | |
|------|-------|
| 事業所名 | きりん教室 |
|------|-------|

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 109人

回収数 100枚

有効回答数 98枚

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|--------|---------------|------|-------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 95.9% | 4.1% | 0.0% | 0.0% | ・子どもが5人入ると、狭く感じる。 | ・PRでの活動と机上課題で活動の場を分けるように検討する。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。※基準の人数又は基準以上の配置を行っております。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、発達の状態に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 93.9% | 6.1% | 0.0% | 0.0% | ・個室があるのはいいが、向をする部屋かは子どもは分かりにくい。 | ・必要に応じて、視覚的に今は何をしているかの看板などを設置するように検討する。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの様子等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 94.9% | 5.1% | 0.0% | 0.0% | ・一人一人のことをしっかり見て必要に応じた支援をしてくれている。 | ・専門性のある支援がより円滑に提供できるように多職種連携を強化できるように努めていく。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 93.9% | 2.0% | 0.0% | 4.1% | | |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。 | 94.9% | 3.1% | 0.0% | 2.0% | ・個別支援計画の内容内容が普段の活動に反映されているのがよく分からない。 | ・個別支援計画や活動の振り返りの際により丁寧に説明し、保護者との共通理解を深めていくことができるように対処方法を検討する。 |
| | 8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 92.9% | 3.1% | 0.0% | 4.1% | | |
| | 9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 95.9% | 4.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 95.9% | 0.0% | 0.0% | 4.1% | ・個人での内容も色々と考えて下さり、集団での内容もあり、子どもの成長や特性に合わせてながら、工夫してくれている。 | ・個別と個別の小集団の活動がバランス良く提供できるように今後も工夫をしていく。 |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。（保育所や認定こども園、幼稚園等に通っているお子さんは「はい」に○を付けてください） | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等（重要事項説明書の説明）について丁寧な説明がありましたか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 99.0% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 86.7% | 6.1% | 1.0% | 6.1% | ・用紙で案内は見ただことある。 | ・より沢山の方に参加していただけるように開催の頻度を増やしていただけるように検討する。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 98.0% | 1.0% | 0.0% | 1.0% | | |
| 保護者 への 説明等 | 16 定期的に、相談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 92.9% | 6.1% | 0.0% | 1.0% | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 99.0% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 39.8% | 28.6% | 6.1% | 25.5% | | |
| | 19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 93.9% | 3.1% | 0.0% | 3.1% | | |
| | 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 98.0% | 1.0% | 0.0% | 1.0% | | |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等（きりんだよりやインスタグラム等）で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 87.8% | 2.0% | 0.0% | 10.2% | | |
| | 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 91.8% | 2.0% | 1.0% | 5.1% | | |
| 非常時 等の 対応 | 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 85.7% | 3.1% | 0.0% | 11.2% | | |
| | 25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 92.9% | 3.1% | 0.0% | 4.1% | | |
| | 26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 89.8% | 2.0% | 0.0% | 8.2% | ・今まで事故等がないが、よく様子を見ており、「赤くなった」程度のことでもすぐ伝えてくれる。 | |
| | 27 こどもは安心感をもって通所していますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 満足 度 | 28 こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 29 事業所の支援に満足していますか。 | 98.0% | 2.0% | 0.0% | 0.0% | | |

事業所名 きりん教室 公表日 令和8年4月1日

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|--------|-------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100.0% | 0.0% | | 検査のフィードバックがある際などに、お子さまの机上課題の部屋が足りていないことがある。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 80.0% | 20.0% | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 90.0% | 10.0% | ・延長コードなどのひっきりかきがないようにしたり、脱ぎっぱなしスリッパを子どもが履いて怪我をしないように安全で安心できるようにしている。 | ・荷物が多く整理整頓しないと刺激が多い。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 90.0% | 10.0% | ・子どもたちが、主体的に動きたくるようになり、子どもたちが環境構成を楽しめるように工夫している。 | ・窓の掃除などがこまめにできていない。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 90.0% | 10.0% | ・説明ができるよう文章化やイラスト、写真で知らせ共有している。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100.0% | 0.0% | 業務改善での案を提出したり、相談したりしている。 | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 90.0% | 10.0% | 事業所ミーティングを通して職員の意見等を把握する機会を設けている。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | | | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100.0% | 0.0% | ・外部の研修なども参加できる機会も設けている。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100.0% | 0.0% | 見るべきポイントはどこなのか？観察すべきところはどこなのか？振り返ることを普段から考えるようにしている。 | |
| | 16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 80.0% | 20.0% | ・セッションの時間帯によっては、チームで活動プログラムと一緒に机上課題を設定するなどができる。 | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | ・チームでの連携に努めているが、チームで連携した支援が上手くいかない時もあるので改善できたらより良いと感じている。 |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 70.0% | 30.0% | | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 23 定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 90.0% | 10.0% | | |
| 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100.0% | 0.0% | | | |
| 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100.0% | 0.0% | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|--------|-------|------------------------------------|-----------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100.0% | 0.0% | ・メリットデメリットを考え、理解につながるよう努力している。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 90.0% | 10.0% | | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 90.0% | 10.0% | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 0.0% | 0.0% | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 80.0% | 20.0% | | ・地域の中で他のお子さまと活動する機会はできていない。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 90.0% | 10.0% | | |
| | 36 | 個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 37 | 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 60.0% | 40.0% | | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100.0% | 0.0% | ・発信することで、伝達漏れや、用紙の削減につながると思う。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 70.0% | 30.0% | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100.0% | 0.0% | ・医師の指示書はないが、アレルギーについては保護者と共有をしている。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |